



世界一の剣士と、心安らぐまち

昨年、ジョージアで開催されたフェンシング世界選手権男子エペ団体で、日本史上初となる金メダル獲得という快挙を成し遂げた浅海聖哉選手が、市役所を訪れ、大会の報告をしてくださいました。あれから一年、このたび、その輝かしい功績をたたえ「上尾市栄誉賞」をお贈りし、あわせて「キラリ☆あげお PR 大使」にも就任いただきました。

式典の後には、市役所ピロティにて弟の結哉選手^{ゆうや}とのエキシビジョンマッチも行われ、多くの皆様にご来場いただき、会場は熱気に包まれました。剣が触れ合う音や鋭く踏み込む足音は、テレビ越しでは伝わらない迫力があり、そのスピード感あふれる攻防に思わず見入ってしまいました。その様子を見つめる子どもたちの瞳もきらきらと輝いていました。

私が浅海聖哉選手と初めてお会いしたのは、高校1年生の時に世界ジュニア・カデ選手権大会で銅メダルを獲得された時でした。その際、「また世界で活躍して報告に来ます」と語ってくれた姿を、今でも鮮明に覚えています。そんな浅海聖哉選手が「上尾市に帰ってくるたびに心が安らぎます。大好きなまちです。」と語ってくれました。ふるさと上尾をそのように思ってくれていることを大変うれしく感じるとともに、その言葉に深く心を打たれました。

これからはPR 大使として、上尾の魅力を多くの方々へ届けていただくとともに、第20回アジア競技大会をはじめとする国際大会でのさらなるご活躍を期待しています。ふるさと上尾から、皆さんとともに、大きな声援を送りましょう。



エキシビジョンマッチの後で浅海聖哉選手(右)・弟の結哉選手(左)と

市長 畠山 稔